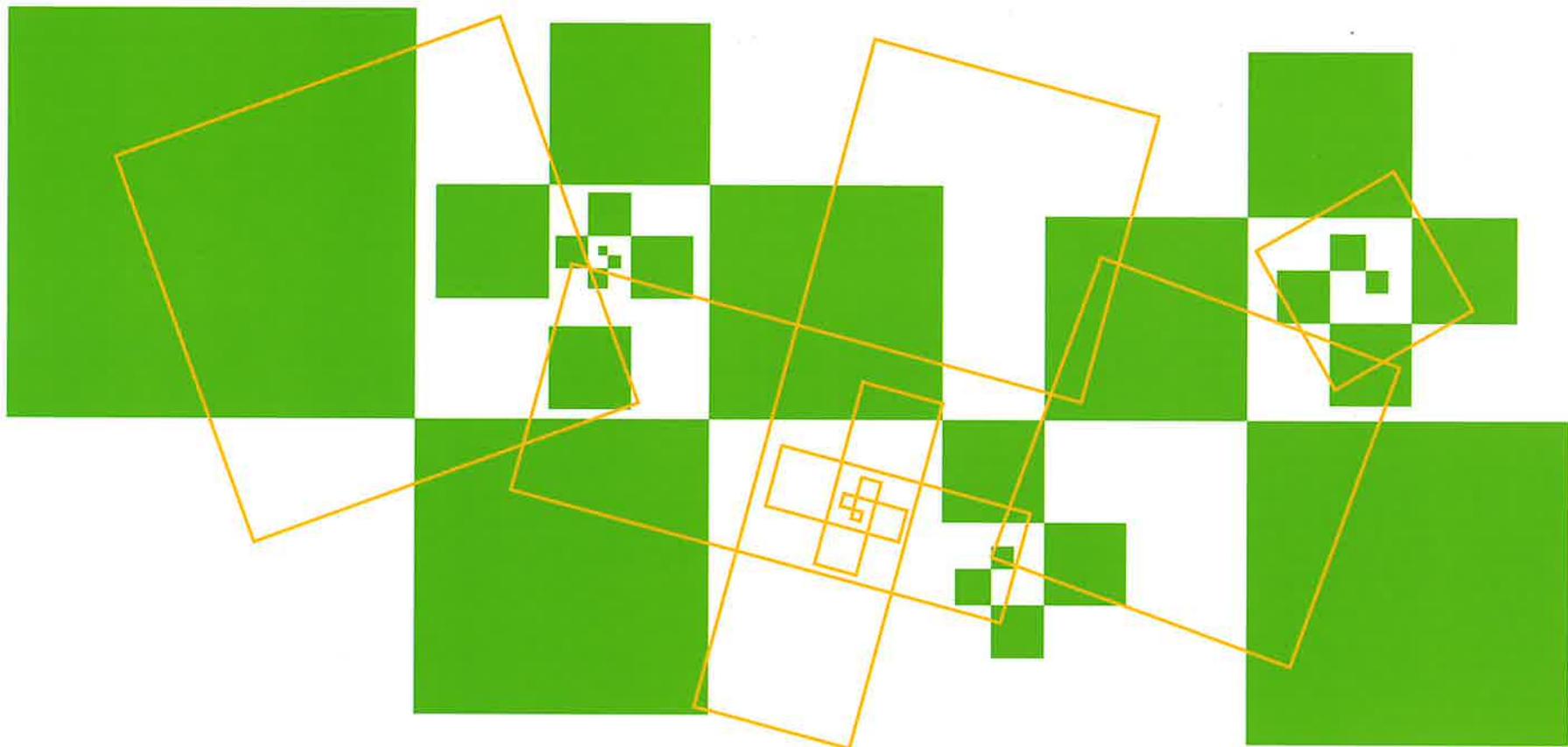
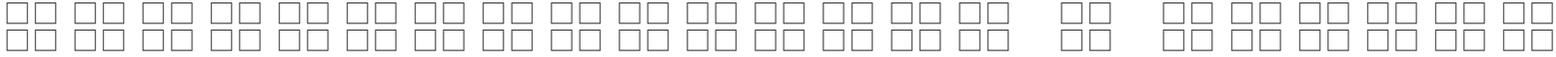


進級式

小学漢字練習



十級(小学校一年生で習う漢字)や書き取り等の問題集 小学生国語 | 進級式 小学漢字練習



漢字	音・訓	部首	筆順	主な意味と語例
口	くち コウ・ク	口 3	1 口 口	もの出入りぐち(出口)
五	ゴ いっ・いっつ	二 4	一 五 五	いっつ(五重・五感)
見	ケン みる・みえる	見 7	目 目 目 目 見	めにどめる・ながめる(見学)
犬	ケン いぬ	犬 4	一 犬 犬	いぬ(名犬)
月	ツキ あける・あく	月 4	ノ 月 月 月	つき(月光) 一年の十二分の一(正月)
空	ソラ あける・から	宀 8	宀 宀 空 空 空	そら(空中) から(空白) むだ(空費)
金	キン かね・*かな	金 8	人 今 今 余 金 金	きん(黄金) おかね(現金)
玉	タマ ギョク	玉 5	一 下 干 玉 玉	たま(玉石) まるい形のもの(目玉)
休	キウ やすむ・やすまる	人(亻) 6	ノ イ 仁 什 休 休	やすむ(休息)
九	キュウ ここの・ここのつ	乙 2	ノ 九	ここのつ(九州) かずが多い(九重)
気	キ まなぶ	气 6	ノ 一 气 气 气	き(気体) きもち(気力)
学	ガク まなぶ	子 8	、 ツ 学 学 学	べんぎようする(学習・学校)
貝	カイ かい	貝 7	口 目 目 自 貝 貝	かい・かいがら(貝柱・赤貝)
花	ハナ はな	艹 7	一 艹 艹 艹 花 花	はな(草花) うつくしいもの(火花)
火	カ ひ・*ほ	火 4	、 火 火	ひ(火山) かじ(火災)
下	カ さげる・くだる	一 3	一 下 下	した・ひくいところ(下位・下流)
音	オン おと・ね	音 9	一 音 立 音 音	こえ・おと(音声) ねいろ(音楽)
王	オウ オウ	玉(王) 4	一 下 干 王	くに(國王)
円	エン まるい	冂 4	一 冂 冂 円	まる(円形)
雨	ウ あめ・*あま	雨 8	一 冂 冂 冂 雨 雨	あめ(雨天・雨水)
右	ミギ ウ・ユウ	口 5	ノ ナ 才 右 右	みぎ(右折) かたわら(座右)
一	イチ ひと・ひとつ	一 1	一	ひとつ(一度) はじめ(一番)

十級 (小学校一年で習う漢字) 80字



青	生	正	水	人	森	上	小	女	出	十	手	車	七	耳	字	糸	四	子	山	三	左	校
セイ・*シヨウウ ^高 あお・あおい	セイ・シヨウウ いきる・いかす うむ・おう ^中 ・はえる はやす・き ^中 ・なま	セイ・シヨウウ ただしい ただす・まさ	スイ みず	ジン・ニン ひと	シン もり	ジョウウ・*シヨウウ ^高 うえ・*うわ・かみ あがる・あがる のぼす ^中 ・のぼせる ^中	シヨウウ ちいさい こ・おい	ジョ・ニヨ ^中 ・*ニヨウ ^高 おんな・め ^中	シユツ・*スイ ^中 でる・だす	ジュウ・ジツ とお・と	シユ て・*た ^中	シヤ くるま	シチ なな・ななつ・*なの	ジ ^中 みみ	ジ あぎ ^中	シ いと	シ よつ・よつ よつ・よつ・よん	シ・ス こ	サン やま	サン み・みつ・みつ	サ ひだり	コウ 校
青 8	生 5	止 5	水 4	人 2	木 12	一 3	小 3	女 3	一 5	十 2	手 4	車 7	一 2	耳 6	子 6	糸 6	口 5	子 3	山 3	一 3	工 5	木 10
一十生青青	ノ牛牛生	一丁下正	水水水	ノ人	十木森森森	一ト上	小小	女女女	一十出出	一十	手手手	一車車車	一七	一耳耳耳	子字字	糸糸糸糸	口四四四	子了子	山山	一三三	一工左左	十木木木校
あお(青空) わかい(青春)	はえる(野生) うまれる(発生) くらし(生活) いのち(人生) べんぎようしている人(学生)	ただしい(正確) ちようど(正午)	みず(水道)	ひと・にんげん(人体)	もり(森林) しずかなこと(森閑)	うえ(上空) すぐれている(上質) はじめのほう(上巻) あがる(上陸)	ちいさい(小川)	おんなのひと(少女) むすめ(長女)	でる(出火) あらわれる(出現)	とお(十字) ぜんぶ(十分)	て・うで(徒手) ほうほう(手段)	くるま(馬車) 輪(風車)	ななつ(七福神) かずが多い(七色)	みみ(耳鼻科) きく(空耳)	もじ(活字) 町や村をさらに小さくわけたところ(字)	いと(絹糸) ほそいもの(糸竹)	よつ(四季)	こども(男子) ちいさいもの(原身)	やま(火山) たいせつなところ(山場)	みつ(三角) かずが多い(再三)	ひだり(左折) ひくいほう(左遷)	がつこう(校門) しらべる(校正)



百	文	木	本	名	目	立	力	林	六				
ヒヤク	ブン・モン	ボク・モク	ホン	メイ・ミヨウ	な	モク・*ボク(中)	め・*ま(中)	リツ・*リユウ(中)	たつ・たてる	ちから	リン	はやし	むっつ・むい
白	文	木	木	口	目	立	力	木	ハ	カ	木	ハ	ハ
6	4	4	5	6	5	5	2	8	4	2	8	4	4
一	一	一	一	ノ	一	一	フ	一	一	一	一	一	一
ア	ナ	十	十	ク	口	口	カ	オ	オ	オ	オ	オ	オ
百	文	木	木	タ	目	目	力	オ	オ	オ	オ	オ	オ
百	文	木	木	タ	目	目	力	オ	オ	オ	オ	オ	オ
百	文	木	木	タ	目	目	力	オ	オ	オ	オ	オ	オ
ひやく(百円)	もよう(文様)	き(植木)	もと(基本)	ひとやものごとのよびな(人名)	め(目玉)	みだし(目次)	ちから(水力)	はやし(山林)	むっつ(六人・六法)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)
数の多いこと(百貨店)	もじ(文章)	ざいもく(木材)	書物(絵本)	めあて(目的)	みだし(目次)	めあて(目的)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)	もの(起立)

漢字をつくったのは神さま？ それともかい物？

遠いむかし、まだ文字が無かったころには、情報を伝達する方法は、人が口から口へと語りつぐしかありませんでした。でも、人が覚えることのできることは、量には限りがあるし、長い年月の間には、誤って伝えられたり、忘れられたりすることでも多かったです。ですから、人類にとって、文字の発明は、ほんとうに画期的なことでした。中国の伝説でも、漢字がつけられた時には、天の神さまがあわを降らし、おのが大声を出して泣いたとされています。

では、だれがこのすばらしい漢字をつくったのでしょうか。これについても、いくつかの伝説が伝えられています。

まず伏羲という伝説上の人がつくったとする説。神話によると、この人は、中国を大こう水から救った大地創造の王とされています。

次は神農という、やはり伝説上の人物がつくったとする説。近所の薬局で、ぼろぼろの着物を着て、草をくわえたおじいさんの絵のポスターを見かけたら、その人が神農さんです。この二人は、人間というより神さまですね。

別の伝説では、倉けつという人が発明したことになっています。この人は、今でいうと文部科学省のお役人で、神さまではありません。でも、伝えられる絵によると、何と目が四つあるんです。いえいえ、かい物なんて言っただけ失礼。漢字を考え出したほどの天才は、ふ通のひとちがついてあたりまえです！

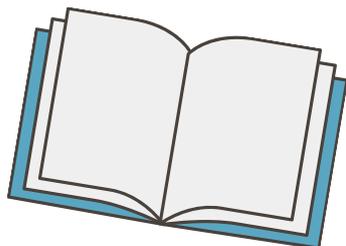
しかし、すべての漢字を一人の人間がつくったと考えるのは、やはり無理で、これはあくまでも伝説でしょう。実際は、多くの人々の中で、長い年月をかけ少しずつ発達したものと考えられています。



紙面サンプルはここまでです。
弊社教材サンプルをご覧ください
ありがとうございます。

塾・学校の先生限定サイト

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ版をご覧ください。



登録無料で、他にも便利な機能がたくさん！
ぜひお役立て下さい。

Bunri Teachers' Site
会員登録はこちら



※ご登録には弊社発行の招待コードが必要です。

教材サポート

単元テスト、指導用資料、
学習サポートアイテムなど
指導をサポートするコンテンツ



最新の教育情報

社会時事問題、高校入試分析、
教科書採択情報など最新の
教育に関する情報をお届け



各種教材やテストの お問い合わせ・お申込み

生徒さま一人一人に合った教材・
テスト・デジタルコンテンツを
ご提案



※Bunri Teachers' Siteは、塾・学校の先生方のための情報サイトです。
ユーザー登録していただくことで、会員限定の詳細情報をご覧ください。
本サイトは一般の方のご利用をお断りしております。予めご了承ください。

お問い合わせフォーム



招待コード発行や教材の内容・ご購入方法等
お気軽にお問い合わせ下さい。